(一)　(大正十三年三月三日 第三種郵便物認可)　大正十三年五月五日　磐城日日新聞　(第三百三十六號)　(金曜日)

磐城日日新聞

發行人編輯人兼印刷人 横山顯
印刷所 福島縣石城郡平町二丁目三九番地 株式會社平活版所
發行所 福島縣石城郡平町城山四番地 磐城日日新聞社
廣告料 五號字十三字詰一行 五錢場所指定十錢增
休刊日 日曜、大祭、祝日
新聞代價 一部 金貳錢 一ヶ月 金五拾錢

三萬町民のために
一營利會社を葬れ
正義の戰は町民の勝利也
起て、奮るへ、青年團諸君
此の機會は試練の秋
鐵劍

小田炭礦が自家用として出願したる、大瀧發電所の水利權を出願前既に讓渡を內諾しある電氣企業社に、公ならぬ。然貳千圓の權利金を以つて讓渡したる問題は、端なくも平町民の死命を掣する重大事なりとして、本日町民大會を開催し、一營利會社平町の將來を危險ならしむを葬れの聲、漲つて、ここにるものとなし、一齊に運動大なる渦卷の動亂を捲起しを起して、反對の行爲に出たる事は近來の不祥事と言はねばならない。

殊に聞くところによれば好間川水流の七十立方尺は發電所取入口より、水路に使用され、殘る十五立方尺の僅量なる水、それも五立方尺は水電の灌漑用としての使用されたる、汚濁極まる惡水であつて、それが直ちに平水道使用水量五立方尺に最後の一員まで猛鬪苦の中に混入したる結果は、恐るべき、衛生上の問題と

なるべく又以つて、由々敷願したる、大瀧發電所の水利權を出願前既に讓渡を內諾しある電氣企業社に、公ならぬ。然貳千圓の權利金を以つて讓渡したる問題は、端なくは猛然と起つて、反對の氣も平町民の死命を掣する重勢をあげ、清純にして眞劍大事なりとして、本日町民大會を開催し、一營利會社平町の將來を危險ならしむを葬れの聲、漲つて、ここにるものとなし、一齊に運動大なる渦卷の動亂を捲起しを起して、反對の行爲に出たる事は近來の不祥事と言はねばならない。

殊に聞くところによれば好間川水流の七十立方尺は壯擧を贊するものである。發電所取入口より、水路に此の平町が直面したるとき、そこには使用され、殘る十五立方尺直大なる問題にとなり三萬町民の幸、不幸の問題に方尺は水電の灌漑用としての直接關係のみが存在するとを、記憶し、他念なく、使用されたる、汚濁極まる惡水であつて、それが直ちに平水道使用水量五立方尺に最後の一員まで猛鬪苦の中に混入したる結果は、恐るべき、衛生上の問題と

ん事を希望するものである一營利會社の幸福のために平町民三萬を犧牲にすることは出きない、此の見易き議論に共鳴せざるの町民が假りに存在するとするならば、そは憎むべき、平町の逆者と言はんよりも、そのら無智なる事に、同情を禁じ得ないではないか。

彼等が言はんと欲するところは、公正にあらず、正義にあらずと見るも、亦一營利會社の

發電所が出來れば
平町民は汚水を飲む
東土木課長の態度が不鮮明と
伊坂町長は慨して語る

平町電氣企業社が好間川上り見ても誠に憂ふべき事に流に發電所を設置する結果なるからで即ち平均約九十平町の上水道の水質が不良ケの水量が七十ケ使用されとなり三萬町民の保健衛生平水道の取入口の大瀧江筋上

默過す
ることの出來ない重大問題であるとしてる譯けであるが然も其の十今五日町民大會を開催した三ケと云ふ水量は附近部落が伊坂町長は其の反對理由に就て語る「平町として發流入する汚水を含んでの量なので非常に電所が出來ると水質が非常に惡くなり、保健衛生上よ

取入口で十三ケの水量を最低限度として本流に殘されて

平町電氣企業社が好間川上り見ても誠に憂ふべき事に流に發電所を設置する結果なるからで即ち平均約九十平町の上水道の水質が不良ケの水量が七十ケ使用されとなり三萬町民の保健衛生平水道の取入口の大瀧江筋取入口で十三ケの水量を最低限度として本流に殘され

偶傀なりと見られても一言もあるべきではない。

愛町の士は、此の水道問題を提げて闘はんとする全半面は處女の如き細心と清純とをもて水道問題に終始せられんことを重ねて熱禱するものである。

汚なく
水量が減じ流れがゆるやかになる結果細菌の培養驚くべき數で增加する、其結果は沈澱池路過池があつても今日迄の樣な良質にすることは出來ぬ、昨四一方それがため沈澱池、路過池の掃除費も增大する樣な譯で第一町民は

保健衛生
上反對せざるを得ぬ、本流に流入する汚水は連日または五日間おきに調査してゐるが一例をあげると、野尻と云ふ用水堀を廿八日調査した結果は一センチメートル（約三滴）の水中に千八十八の細菌があつた。

次に本問題に對し東本縣土木課長の態度が甚だ

不誠意
である、平町で發電所設置に不同意の旨を決議し大正十二年六月其の旨上申し本年三月五日と卅一日の二回に亘り縣に認可になつたがどうかを照會したが何の返事もなく四月廿六日指令許可と共に平町に其旨返事して來た、そこで伏見助役が出縣陳情した處東土木課長の態度はまるで

排戰的
で一體川を誰れの所有と思つてる、國家のものだ、お前等の必要ないちやないかと云ふまる十三ケの水が行けば不足はで常識で判斷出來ぬ態度で且つ衛生關係方面に就ては慮數萬伊坂町長より一應の經過報告後反對運動實行委員たる井上縣議を座長に推し町民の自衛上飽迄當局の

豐間村に
一羽の軍用鳩
平署で保護中

昨四日午前十時頃豐間村薄磯北街高木丑松方庭先きに一羽の鳩を發見捕へて見れば中野電信隊より放した軍用鳩で飛行隊附軍艦若宮號宛の手紙を持つてゐたが迷いの鳩であること判明平署に届出で目下保護中である

平製氷と
泉製氷合併
昨日重役會議で

平製氷株式會社と泉製氷會社は昨四日重役會議をなし合併する事に決定したと

大浦村力進社と
縣是製絲會社合併
七日の株主總會で決定する

大浦村力進社と縣是製絲會物の處置方法が惡くなり荷社が國產奬勵を目的として主の苦情百出してゐるがこ合併せんとして兩社重役等れは皆處置の機敏でないのと極力奔走中であつたが此の荷物係等が震災後兎角應合併案は去月末力進社長木對に誠意をかくやうになつ村清治氏が福島で山田一氏たといふのが各驛共一致し等と會見合併條件に一致點た弊害で福島運輸事務所でを見出し愈々曙光を見るに は荷物の監査、授受、對照中至り既に兩社重役にても合併案を承認し七日力進社株主總會を開き株主の承認を得さいすれば決定する段取になつてゐるが昨四日午後極力奔走中であつたが此の合併案は去月末力進社長木村清治氏が福島で山田一氏等と會見合併條件に一致點を見出し愈々曙光を見るに至り既に兩社重役にても合併案を承認し七日力進社株主總會を開き株主の承認を得さいすれば決定する段取になつてゐるが昨四日午後極力奔走中であつたが此の合併せんとして兩社重役等れは皆處置の機敏でないのと荷物係等が震災後兎角應對に誠意をかくやうになつたといふのが各驛共一致し弊害で福島運輸事務所では荷物の監査、授受、對照中

震災以來
各驛共に不親切
荷主に苦情絕えぬ

近ごろ國有鐵道でも私有鐵道でも各驛共おなじ樣に荷

今日松ケの岡で
平町民大會開かる
須く强く生きよと三萬町民結束
各辯士大へに熱辯を振ふ

別項記載の如く平町上水道の水源地上流に電氣企業社の發電所設置を許可したるため重大問題として今五日午後一時より松ケ岡公園に町民大會を開催參集者無慮數萬伊坂町長より一應の經過報告後反對運動實行委員たる井上縣議を座長に推し町民の自衛上飽迄當局の

許可を取消さしむるべく目的貫徹を期する決議をなし同氏及鈴木前縣議は反對運動に對し大獅々吼し町民は熱叫し次いで青年團代表の川崎文治、三森虎雄、小松茂、綠川喜三郎の諸氏交々起つて反對演說を試み喝采裡に午後五時散會した

筆洗ふ前に

アキラ

人間の歩まねば、守らねばならぬ正理公道がある。

それは王者であらうと、庶民であらうと正しい意味に於て唯一の貴い人間公路であるのだ、然し、しば〳〵人間が誤り易いのは、慾があるからである。この人間が生きやうとする意志のあることが、多くの場合、無智低級に慾となつて現はれしば〳〵悲慘事を產む慾の悲しさとなるのである。

何故に人間が、生きねばならぬか、生きることが人間に與へられた許りでなく生物の一切に與へた、その天分の責を果さねばならぬからだといふことを知らないそして亦、慾の鬪爭が良い意味での進出擴張發見であるけれど、悪い意味での無智低級な人間達では、それが、正理公道を踏外づして、他の共存せねばならぬ、自己の仲間を殺傷することになるのである。害毒を流すものは慾となる、即ち慾の無智過大な要求野望はいつも他の存在を危險ならしむる結果となる。

人間はいつも自己を離れた他の存在があることを忘れてはならないのである。

田子村長認可

三坂澤渡組合村長田子英吉氏は過般の村會で再選申請中の處二日附認可さる

傳說哀話　長柄の人柱

平曉星

昔嵯峨天皇弘仁の頃、津の國難波の岸と垂水の里棹指しての宮との間は二里もある南大阪難波と云ふのもこの一部に他ならない。

海の入江で數拾の小家が散在してゐた其の間へ橋を設けて兩國から都へ上る者の便を圖らうと幾度びも橋を立して見たれど潮流が溯るめられた。今の大願寺は此毎に波が激しくて屢々墜落の練若で歌には橋出寺と詠するのであつた。

時の博士が之れを卜して云ふには人柱を沈めて築き上げたら屹度堅固な橋が建つだらうとあつたのでこの事を敲聞に及んで垂水の邊に關所を設けて人柱をなるべき人を物色した人々は恐れをたして近寄るものもなかつたから容易には人柱が得られなかつた、その頃垂水の里に岩氏と云ふ人があつた袴の裾に補綴のある者を捕へて人柱としたら島橋も屹度堅固に成就すると冗談半分に云つたそれが口から口へと傳つて何時か關守の耳に入つたので關守は鵜の目鷹の目になつて通る人を調べてゐた。

或日關を越える男を見ると袴の裾に補綴があつたので關守は「さてこそ」とこの男を捕いて早速人柱の贄とした何ぞ計らんこの男は岩氏その人であつたのである、望みに委せて岩氏を柱人と

長柄なる橋本寺も
つくるあり
おてらぬ家を
何々たとへん

又この邊りて淵があつて岩氏の人柱を入れた跡だと云ふ者は燈籠があがつて居た

明日休刊

和　漆器指物
石井屋漆器店
平町一丁目
電話四〇五番

料理は醬油
醬油はヤマフル
釀造元
鹽屋本店
山崎與三郎商店
電話二七番
美味
經濟

霜降小倉
通學服
二円七十銭ヨリ
寸法各種
澤山取揃
磐城平
かや洋服店
電話二〇三番

生そば
西洋料理
天井親子
支那そば
定食三品付五十錢
平町
日の出そば店
電話（本店四六五番 支店四四番）
女中さん數名募集

松竹キネマ團二週年記念興行
六月五日
新建築・時代劇・喜劇
數種
高級常設
平館
全一
映畫大の題目を致極最の時間人なる刻深せる不
五日間子・岩田福吉・桝咲子・共演

民事
刑事
一般事務取扱
辯護士　酒井喜代正事務所
平町搔揃小路

公債株式
現物仲買
丸登株式店
平町田町六八
平五丁目
電話三三三番

外科、花柳病、內科、エツキス光線
新妻醫院
平南町　電話二二九番

內科、外科、婦人科、胃腸病科
デアテルミー光線科、花柳病科
松村病院
電話二〇七番
平町南町

內科、外科、耳鼻咽喉科、花柳病科
高久病院
電話五一三番
平町田

內科、外科、花柳科
耳鼻咽喉科、婦人科
赤心堂病院
電話四七五番
平町田町

御設備下せい
文化生活の强敵なる
恐るべき蠅の撲滅の爲に
驚くべし一匹の蠅は、百參拾萬の細菌を保有して居るそうです
蚊とり兼用
ハイトリック
特價　金四圓五拾錢
專賣特許
和洋銅鐵金物問屋
笠屋商店
平五丁目
電話三九番、振替東京一〇